

平成 21 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 アイティメディア株式会社  
 U R L <http://corp.itmedia.co.jp/>  
 代表取締役社長 大 槻 利 樹  
 (コード番号:2148 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役管理本部長 工藤 靖  
 (TEL 03-5293-2612)  
 当社の親会社 ソフトバンク株式会社  
 代表取締役社長 孫 正義  
 (コード番号:9984 東証第一部)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 10 月 29 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

#### 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,383	259	280	163
今 回 発 表 予 想 (B)	3,058	△15	4	△34
増 減 額 (B-A)	△325	△274	△276	△197
増 減 率 (%)	△9.6	—	△98.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	3,430	575	602	328

#### 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,368	327	348	202
今 回 発 表 予 想 (B)	3,041	60	84	46
増 減 額 (B-A)	△327	△267	△264	△156
増 減 率 (%)	△9.7	△81.7	△75.9	△77.2
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	3,430	575	602	328

#### 修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間における業績は減収減益となりました。取引先企業の業績悪化に伴うコスト削減に加え、価格競争が一層激しさを増している中、顧客企業にとって費用対効果の高い広告商品を展開するターゲティング・メディア事業への積極的な資源投入、およびコスト構造の見直しによる固定費の削減等を実施してまいりましたが、売上の減少をカバーするには十分でないことから、減収減益となる見通しとなりました。

現在当社グループの置かれている環境におきましては、第 4 四半期連結会計期間においても、経済環境の更なる落ち込みが続くことが見込まれます。

このような状況下におきまして、オンラインメディア企業である当社グループは、成長分野であるターゲティング・メディア事業に積極的に取り組むと同時に、既存メディア群のコンテンツ充実と広告商品の改良に取り組んでまいりましたが、当初の想定より市場環境が悪化していることもあり、平成 20 年 10 月 29 日に発表した通期業績予想を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、売上原価および販売費及び一般管理費の削減等に努めてまいりましたが、人件費や賃料、システム関連費用の増加要因もあり、売上高の予想を上回る減少を吸収するには至らず、当初の予想を下回る見通しとなりました。当社グループにおけるコストの多くは人件費、事務所賃借料およびサーバー等のシステム関連の維持管理費が大部分を占めており、それらのほとんどが固定費となっております。よって、売上高の減少がほぼ、営業利益、経常利益および当期純利益に反映される構造となっております。

以上のことを踏まえまして、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

※当連結会計年度の確定値及び財務諸表につきましては平成 21 年 4 月下旬に発表させていただく予定です。本業績予想の修正につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、監査法人による監査が終了していない速報値であるため、4 月下旬にご報告する予定の決算数値とずれが生じる可能性があります。

以上